

腕時計専門店が進める
「本当にいい時計」

市場の長針・短針

老舗ハナジマが ジラルール・ペルゴ GIRARD-PERREGAUXを 猛プッシュする理由

ジラルール・ペルゴを紐解けば、1791年にまでさかのぼる。
古くはヨーロッパの王侯貴族たちから愛され、
今は世界中のセレブリティを魅了している。
そして日本では……、老舗ハナジマのジラルール・ペルゴが熱い。
定番からハイエンドクラスのスリー・ブリッジ トゥールビヨンまで
ジラルール・ペルゴの名品、名機を取り揃えて、フェアが開催される



ネオ スリー・ブリッジ トゥールビヨン
99270-52-000-BA6A

スリー・ブリッジ トゥールビヨンもジラルール・ペルゴを代表するキャリア。1860年代にはすでにベースの技術が完成して、その後150年をかけて熟成と進化を繰り返してきた。このネオ スリー・ブリッジ トゥールビヨンは最新進化形。ケース径：45mm。K18PG。自動巻（トゥールビヨン）。新品。1729万0800円



一方、スイスのラ・ショー・ド・フォ
ンで生まれたコンスタン・ジラルールが、
初めて自分のブランドを持ったのは
1852年。その4年後にジラルール・
ペルゴ社というマニユファクチュールに
発展する。彼が特にこだわり研究を進
めたのが脱進機についてだ。発明され
たばかりのトゥールビヨンにも注目し、
後にジラルール・ペルゴの代名詞となるス
リー・ブリッジ トゥールビヨンを発表し
たのは1889年のパリ万国博覧会
だった。

アイデアマンのコンスタン・ジラルール
は当時のドイツ皇帝の依頼で、ドイツ
軍将校用の腕時計も考案した。これが
世界で初めての量産腕時計ということ
になる。まだまだ時代は懐中時計だっ

20世紀を越える歴史
日本との縁も深いブランド

ジラルール・ペルゴにはすでに2世紀あ
まりの歴史がある。時計師であり、宝
飾細工師であり、彫金やギョーシエ彫
りに長け、優れたケース造り師でもあ
るジャン・フランソワ・ポットが初めて
自分の作品として懐中時計を世に送り
出したのが1791年。それから程な
くしてポットは時計や宝飾品などの職
人を集めて、パーツのひとつから一貫
生産できるメゾン、つまりマニユファ
クチュールを開いた。



ハナジマ
花島素人 さん



「デザインがシンプルなのでジュエリー
タイプでもハデすぎず、上品で雰囲気
があります。そして何ともいえない
色気を感じさせるところも私は好きで
すね」。そう語る花島社長は、ジラル
ール・ペルゴ 1966のペゼルダイヤタイ
プに、社外品の明るめのクロコダイヤ
ベルトをマッチングして魅せてくれた。

SHOP Information



ハナジマ

〒132-0025
東京都江戸川区松江7-11-3
TEL. 03-3652-8740
<http://www.hanajima.com/>
営業時間 / 10:00 ~ 20:00
定休日 / 火曜日

クロノホーク
49970-11-431-11A

ケース径は44mm。ケース厚は15.45mm。堂々としたサイズでありながらシェイプがきいているフォルムは、スタイリッシュでエレガント。上品なブルーのダイヤルには細かい六角形を組み合わせたギョーシェ細工が施され、この細工が豊かな表情を見せる。インダイヤルは9時位置が30分計。3字位置はスモールセコンド。SS。自動巻。新品。170万6400円



ジラルール・ベルゴ 1966
49525D52ABD2-BK8A

ベゼルに62個のダイヤモンドをセット。白蝶貝のダイヤルにもダイヤをアシンメトリーにあしらったエレガンスウォッチ。ちなみにダイヤモンドは前部で0.95ctになる。レディースラインだが、38mmのラウンドケースは男性の手首にもしっくりくる。黒や茶のクロコダイアルベルトなら、ふだん使いもできるメンズドレスウォッチになる。K18PG×ダイヤモンド。自動巻。新品。297万円

ジラルール・ベルゴ 1966 スチール
49555-11-1A1-BB60

オートマチックなのにケース厚は8.9mm(ケース径:40mm)でスッキリとしたフォルム。ベーシックで飽きがこない腕時計だが、インデックスには8個のダイヤモンドをセッティング。シンプルで満足感がある……このモデルにはジラルール・ベルゴの魅力が凝縮されている。SS。自動巻。新品。92万8800円



シーホーク
49960-19-631-11A

シーホークのファーストモデルは1940年に発表された。それ以来、進化を繰り返し現在のモデルになった。4時方向に滑り止めの効いたビッグリュースを備えた44mmのラージケースは圧巻。視認性や操作性から生まれたデザインだが、何にも似ていない迫力のダイバース。1000m防水。SS。自動巻。新品。138万2400円



ジラルール・ベルゴ 1966
49525-52-131-0

鏡のように磨かれた38mmのラウンドケースとホワイトダイヤルの組み合わせ。やや長めのバーインデックスとブルースチールの秒針が上品な雰囲気の中で、この腕時計を選んだ人の個性をさりげなく主張する。K18PG。自動巻。新品。167万4000円

老舗腕時計店の社長も
スタッフも大絶賛

東京・江戸川区のハナジマの創業は1957年。宝飾や眼鏡でも知る人ぞ知る存在だが、腕時計でも名店として知られている。

「初めてジラルール・ベルゴの腕時計を見たのはいつでしたかね」

社長の花鳥さんとジラルール・ベルゴとの出会いはずいぶん昔のことらしいが、ハナジマが正式にジラルール・ベルゴを取り扱うようになったのは20年ほど前だ。「とにかくものすごくキレイな時計だということ、今でもはっきりと記憶しております。特にムーブメントが素晴らしい。ふつう高級時計といっても、ルーベで覗けば小さな小さなビスの頭に、精密ドライバーでつけたかすかな締めあとのひとつやふたつはあるものです。ところがジラルール・ベルゴの腕時計にはそれがまったくない。職人の腕がいいのは当然ですが、組み立ての時の

ものの、ジラルール・ベルゴの初代用腕時計が、腕時計文化に貢献した功績は大きい。

話はここで少し前後する。ジラルール・ベルゴ社は北米をはじめ、南米やアジアにも積極的に販路を広げた。コンスタンティン・シニールの妻マリーの弟、フランソア・ベルゴがシンガポールを経て1860年からは日本の横浜に拠点を置くようになり、日本で初めてスイス時計の販売を始めた。だから日本時間は「横浜時間」だった。また東京は江戸と呼ばれているのだ。

ボット社とジラルール・ベルゴ社というスイスでも屈指のマニュファクチュールが合併したのが1906年。ジラルール・ベルゴの第2章の幕があけた。

専門店スタッフのイチ押し



ハナジマ
今井秀明 さん



ジラール・ペルゴの魅力のひとつで……という質問に、ハナジマの今井秀明さんは「非の打ち所がない腕時計ですね」と話している。「ケースの仕上げはもちろん、機械の細部まで丁寧に造りこんでいて、いい時計ですね」と専門店のベテランスタッフも唸らせる。そんな今井さんは、個人的にもヴィンテージ 1945 にぞっこんなのだ

ヴィンテージ 1945 XXL
デイト&スモールセコンド
25835-11-221-11A

ケースサイズは33.30mm×32.46mm。リューズをケースサイドにオフセットするなど可能な限り左右対称に近づけているのに対して、ダイヤル内は9時位置にスモールセコンド、2時位置にデイト窓をレイアウトするアシンメトリーなデザイン。SS。自動巻。新品。120万9600円



ヴィンテージ 1945 XXL
クロノグラフ
25883-11-221-11A

ケースサイズは36.95mm×36.00mmのアールデコ調スクエアデザイン。9時位置に30分積算計を備えるクロノグラフ。オールドスタイルのプッシュボタンがケースのラインに垂直になるのはスクエアケースならではの美。SS。自動巻。新品。177万1200円

ヴィンテージ 1945 XXL
スモールセコンド
25880-11-421-11A

ダイヤルが柔らかな曲面だけに、黒っぽく感じるところからやや明るめの青に感じるところまである、表情豊かな腕時計だ。ダイヤルとスモールセコンドの外周に描かれたミニッツマーカはレイルウェイスタイルと呼ばれ、ヴィンテージでは王道の表現。SS。自動巻。新品。131万7600円



ジラール・ペルゴ 1966
スチール
49555-11-131-11A

仕上げの美しい40mmのステンレスケースとホワイトダイヤルの組み合わせが上品。ジラール・ペルゴのオリジナル・ステンレスブレスレットはしっかり感があるけれど硬くない。腕あたりはソフトで違和感もない。レザーストラップのイメージが強いが、ステンレスブレスも秀逸。SS。自動巻。新品。100万4400円



ジラール・ペルゴ 1966
スチール デュアルタイム
49544-11-132-11A

ステンレススチールケースは径が40mmで厚みは11.43mm。メインの時・分・秒針と同軸上に24時間表示の赤い針も備えるデュアルタイムウォッチ。6時位置のダイヤルはポインターデイト。SS。自動巻。新品。127万4400円

ジラール・ペルゴ 1966
スチール フルカレンダー
49535-11-131-11A

トラディショナルなレイアウトの年次カレンダーウォッチ。しかしケースサイズは今のトレンドに合わせて40mm。オートマチックだから使い勝手もいい。曜日と月の窓で表示。デイトはポイント式。ムーンフェイスも備える。SS。自動巻。新品。137万1600円



古くて新しいジラール・ペルゴは
老舗ハナジマで気軽に実見

「ただだけ評価されても、おごることなくマニユファクチュールとしての歩みを止めないから、ジラール・ペルゴは最高級であり続けているのだと思います」
ハナジマの花鳥社長が話すように、ジラール・ペルゴは第2章以降も伝統を継承しながら、時代の先端を切り開くように進化してきた。
コンスタン・ジラールがこだわったトゥールビヨンやスリー・ブリッジトゥールビヨンはお家芸に甘んじることなく熟成と進化を繰り返し、今でもネオスリー・ブリッジ トゥールビヨンなど、旗艦ラインのメインキャストとして君臨している。
ハイスベックダイバーのシーホークのファーストモデルは1940年だ。現在のシーホークの防水性はついに1000メートルまで届いた。ホークシリーズはクロノホークというスポーツタイプにも発展し、シーホークとともに個性的でちょっと敵つ人気モデルの両輪だ。
ヴィンテージ1945シリーズは1945年に発売したスクエアケースのヒットモデルに由来する。アールデ

丁寧な仕事ぶりが、そんなところからも伺えました」
ジラール・ペルゴの腕時計に、心底惚れこんでいるのは花鳥社長だけではない。ハナジマには時計について詳しいスタッフが何人もいて、口々にジラール・ペルゴの魅力ばかりを語る。誌面の事情で割愛するが、メカニカルな部分でも、ケースや細工の部分でも、デザイン面でも、ジラール・ペルゴは「間違いなく最高級です」と口を揃える。



**ヴィンテージ 1945 XXL ビッグデイト&ムーンフェイス
25882-11-421-11A**

36.10mm×35.25mm。アールデコ調のケースの中で、淡いブルーのキャリバーが躍動するスケルトンタイプ。ビッグデイトとムーンフェイスというコンビレーションウォッチの要素をふたつも盛りこんだ優雅でぜいたくなモデル。SS。自動巻。新品。205万2000円

ジラルール・ペルゴの最新ラインナップが
ハナジマに結集

ジラルール・ペルゴ フェア

**GP
GIRARD-PERREGAUX
MECHANICS OF TIME SINCE 1791**

**2016年11月2日(水)～
11月28日(月)**

<特典>
期間中に購入した場合
①現金決済ならば購入金額の20%
相当のハナジマ商品券を贈呈
②分割払いの場合、100回まで分
割手数料無料

「最高級クラスというデリケートで扱
いにくいという印象があるかもしれませ
んが、ジラルール・ペルゴは性能や精度と
同じように、使い勝手や耐久性にもこ
だわっています。だから実用的……
ワタシもずいぶん前から使っています」
そう話すハナジマの花鳥社長は、
「そろそろワンランク上げたいな……と
ご検討中なら、ハナジマでジラルール・ペ
ルゴをご覧になりませんか。三大マニユ
ファクチュールとも五大ブランドとも違
う、独自性を維持しながら進化し続け
るマニユファクチュールウォッチの魅力
は、直にご覧になればきっとご理解いた
だけると思います」
ハナジマはハイブランド・ウォッチを
扱う店ではあるが、つい気後れするよう
な敷居の高さを感じないショップだから、
安心して訪ねられる。

**ヴィンテージ 1945
スモールセコンド&デイト
25835-11-1501SBBBA**

1945年に登場したジラルール・ペルゴの
スクエアモデルの雰囲気再現。この
モデルの生誕70周年を記念した特別な
モデルで、ジャパン・リミテッド。限定
数はわずか45本。シースルーバックの
風防に70周年記念のメッセージが入る。
SS。自動巻。新品。115万5600円



**ヴィンテージ 1945 XXL
デイト&スモールセコンド
25835-52-121BACA**

ピンクゴールドケース(33.30mm×
32.46mm)のデイト&スモールセコン
ド。柔らかな曲面のダイヤルは美しいハ
アライン仕上げ。アブライトのインデッ
クスやダイヤルに合わせてカーブを描く
針などひとつひとつの仕事にスキがない
のがよくわかる。K18PG。自動巻。新
品。239万7600円

**ヴィンテージ 1945 XXL
スモールセコンド
25880-52-721-BB6A**

まるで1945年に登場したオリジナル
モデルのようなレトロな雰囲気をもた
える1本。アールデコ様式の特徴であ
るシンメトリーなデザインに徹底的にこ
だわっているデザイン。ケースサイズは
36.20mm×35.25mm。K18PG。自
動巻。新品。289万4400円



コ調のキャラクターの立ったデザイン
のジラルール・ペルゴは、既存の時計に飽き
飽きしていた当時の腕時計ファンを魅了
した。現在のヴィンテージ1945は、
そんなヒットモデルへのオマージュと、
3300系と呼ばれる新しい自社ムーヴ
メントの開発から1990年代半ばに生
まれた。だから復刻ではない。あくまで
も新しい世代のアールデコ調腕時計だ。
そして今紹介しているもうひとつの
ラインがジラルール・ペルゴ1966。こ
の1966という数字もジラルール・
ペルゴにとって特別な意味を持っている。
この年、ジラルール・ペルゴはラウ
ンドクッションケースと独自に開発した
ジャイロマティックという高振動ムーヴ
メントを組み合わせた腕時計を発表し
た。それがハイビート時代の幕あけだっ
た。現在のジラルール・ペルゴ1966は、
そういう血統の末裔という存在である一
方で、現時点で最高の精度も追求して
いる。